

福岡県医発第 972 号（地）
平成 27 年 6 月 30 日



各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

平成 27 年度公益財団法人日本学校保健会事業
「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」実施要項の送付について

時下 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今般標記の件につきまして、福岡県学校保健会より案内がありましたのでお知らせいたします。

本研修会は、平成 25 年度より全国 37 会場で開催されておりますが、今年度は下記記載の通り熊本市、大阪市、仙台市で開催されることとなりました。参加対象者は、学校教育者（一般教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、管理職、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者等）となっております。

つきましては、貴会におかれましても本件につきましてご了知いただき、貴会会員の参加についてご配慮いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、参加申し込みにつきましては、公益財団法人日本学校保健会宛てに直接申し込むこととなっております。

記

●熊本会場

△と き 平成 27 年 7 月 27 日（金）13：00～16：00

△ところ ホテルニューオータニ熊本 鳳凰の間

●大阪会場

△と き 平成 27 年 7 月 29 日（水）13：00～16：00

△ところ ホテルメルパルク 大阪ホール

●仙台会場

△と き 平成 27 年 8 月 11 日（火）13：00～16：00

△ところ 仙台国際センター 大ホール

公印省略

27 福学保第19号

平成27年6月24日

公益社団法人福岡県医師会会長 殿

福岡県学校保健会

会長 松田 峻一良

平成27年度公益法人日本学校保健会事業

「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」実施要項の送付について

標記研修会について、別添写しのとおり公益財団法人日本学校保健会から通知がありましたのでお知らせします。

なお、参加につきましては、公益財団法人日本学校保健会宛てに直接お申し込みください。





日学保第111号

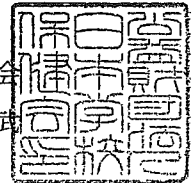
平成27年6月9日

各都道府県・政令指定都市学校保健（連合）会 会長 殿

各都道府県・政令指定都市教育委員会 教育長 殿

公益財団法人 日本学校保健会

会長 横倉 義武



平成27年度 公益財団法人 日本学校保健会事業

「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」

実施要項の送付及び周知について（お願い）

時下 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会事業の推進に格別のご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、本会では、別紙要項のとおり標記研修会を熊本市、大阪市および仙台市で開催いたします。参加対象者は、学校教育関係者（一般教諭、養護教諭、保健主事、栄養教諭、管理職、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、行政担当者等）の皆様です。ぜひこの機会に多数の方々にご参加いただきたく、実施要項を送付いたします。ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、貴管下内の学校等関係機関への周知を含め、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、本研修会の申込みにつきましては、本会ホームページより、参加者ご本人が直接お申込みいただけます。

※本文書は、学校保健会事務局が教育委員会外に特設されている学校保健会には別途教育委員会主管課宛にも送付しております。

《本件照会先》

公益財団法人 日本学校保健会（担当：三谷）

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー6階

TEL：03-3501-0968 FAX：03-3592-3898

平成27年度 公益財団法人日本学校保健会
「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」熊本開催要項

1 目的

本会は食物アレルギーについて文部科学省監修の下、平成20年3月に「学校のアレルギー疾患に対する取組ガイドライン」を発行し、ガイドラインに基づく対応を求め周知してきた。しかし、平成24年12月食物アレルギーを有する児童が、給食後アナフィラキシーショックの疑いにより亡くなる事故が発生し、こうした事故を二度と起こさないよう、文部科学省協力の下、ファイザー株式会社共催で平成25・26年全国37会場に対応研修会を開催してきた。

この度、平成27年2月に文部科学省と公益財団法人日本学校保健会から「取組ガイドライン」の補助資料として「ガイドライン要約版及びDVD」が発行された。この補助資料の活用実践報告を主たる内容とした研修会を開催する。

2 主催

公益財団法人 日本学校保健会 ファイザー 株式会社

3 後援

公益社団法人日本医師会・一般社団法人日本学校歯科医会・公益社団法人日本薬剤会
九州地区県・指定市教育委員会（一部申請中）、九州地区県・指定市学校保健会（一部申請中）

4 期日・開催地

日時 平成27年7月24日（金）13:00～16:00

場所 ホテルニューオータニ熊本 鳳凰の間（熊本県熊本市西区春日1-13-1）

5 参加対象 幼・小・中・高・特別支援学校（含私立）の管理職・養護教諭・教諭・三師会他

6 参加申込方法【学校保健ポータルサイト：<http://www.gakkohoken.jp/>】

①ネット申込み：研修会参加申込ページにアクセス、ネットから申し込む

②FAX申込み：研修会参加申込ページにアクセス、申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入→日本学校保健会へFAX

7 研修会内容（予定）

	13:00 13:05～14:15	(休) 14:30 ～ 15:40	15:40～16:00
開 会	事例発表 要約版・DVD活用実践等	講 演 現状と課題（仮）	実 技 （質疑応答）
	① 高崎市立南小学校 校長 田口 正美 ② 益田市立小野中学校 養護教諭 間島 志織 ③ 文部科学省 岩崎 信子調査官（指導助言）	国立病院機構 熊本医療センター小児科 緒方 美佳	① エピペン®の正しい 取り扱い ② 質疑応答

平成27年度 公益財団法人日本学校保健会
「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」大阪開催要項

1 目的

本会は食物アレルギーについて文部科学省監修の下、平成20年3月に「学校のアレルギー疾患に対する取組ガイドライン」を発行し、ガイドラインに基づく対応を求め周知してきた。しかし、平成24年12月食物アレルギーを有する児童が、給食後アナフィラキシーショックの疑いにより亡くなる事故が発生し、こうした事故を二度と起こさないよう、文部科学省協力の下、ファイザー株式会社共催で平成25・26年全国37会場で対応研修会を開催してきた。

この度、平成27年2月に文部科学省と公益財団法人日本学校保健会から「取組ガイドライン」の補助資料として「ガイドライン要約版及びDVD」が発行された。この補助資料の活用実践報告を主たる内容とした研修会を開催する。

2 主催

公益財団法人 日本学校保健会 ファイザー 株式会社

3 後援

公益社団法人日本医師会・一般社団法人日本学校歯科医会・公益社団法人日本薬剤会
近畿地区府県・政令市教育委員会（一部申請中）、近畿地区府県・政令市学校保健会（一部申請中）

4 期日・開催地

日時 平成27年7月29日（水）13:00～16:00

場所 ホテルメルパルク 大阪 ホール（大阪市淀川区宮原4-2-1）

5 参加対象 幼・小・中・高・特別支援学校（含私立）の管理職・養護教諭・教諭・三
師会他

6 参加申込方法【学校保健ポータルサイト：<http://www.gakkohoken.jp/>】

①ネット申込み：研修会参加申込ページにアクセス、ネットから申し込む

②FAX申込み：研修会参加申込ページにアクセス、申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入→日本学校保健会へFAX

7 研修会内容（予定）

13:00 13:05～14:15		(休) 14:30 ～ 15:40	15:40～16:00
開 会	事例発表 要約版・DVD活用実践等	講 演 現状と課題（仮）	実 技 （質疑応答）
	① 新潟市立白根第一中学校 校長 宮崎 繁夫 ② 姫路市立高浜小学校 養護教諭 三村 理加 ③ 文部科学省 岩崎 信子調査官（指導助言）	大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科 主任部長 亀田 誠	① エピペン®の正しい 取り扱い ② 質疑応答

平成27年度 公益財団法人日本学校保健会
「食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会」 仙台開催要項

1 目的

本会は食物アレルギーについて文部科学省監修の下、平成20年3月に「学校のアレルギー疾患に対する取組ガイドライン」を発行し、ガイドラインに基づく対応を求め周知してきた。しかし、平成24年12月食物アレルギーを有する児童が、給食後アナフィラキシーショックの疑いにより亡くなる事故が発生し、こうした事故を二度と起こさないよう、文部科学省協力の下、ファイザー株式会社共催で平成25・26年全国37会場で対応研修会を開催してきた。

この度、平成27年2月に文部科学省と公益財団法人日本学校保健会から「取組ガイドライン」の補助資料として「ガイドライン要約版及びDVD」が発行された。この補助資料の活用実践報告を主たる内容とした研修会を開催する。

2 主催

公益財団法人 日本学校保健会 ファイザー 株式会社

3 後援

公益社団法人日本医師会・一般社団法人日本学校歯科医会・公益社団法人日本薬剤会
東北地区県・政令市教育委員会（一部申請中）、東北地区県・政令市学校保健会（一部申請中）

4 期日・開催地

日時 平成27年8月11日（火）13:00～16:00

場所 仙台国際センター 大ホール（宮城県仙台市 青葉区青葉山無番地）

5 参加対象 幼・小・中・高・特別支援学校（含私立）の管理職・養護教諭・教諭・三
師会他

6 参加申込方法【学校保健ポータルサイト：<http://www.gakkohoken.jp/>】

①ネット申込み：研修会参加申込ページにアクセス、ネットから申し込む

②FAX 申込み：研修会参加申込ページにアクセス、申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入→日本学校保健会へ FAX

7 研修会内容（予定）

	13:00 13:05～14:15	(休) 14:30 ～ 15:40	15:40～16:00
開 会	事例発表 要約版・DVD活用実践等	講 演 現状と課題（仮）	実 技 （質疑応答）
	① 高崎市立南小学校 校長 田口 正美 ② 千葉市立花島小学校 養護教諭 榊原 真由美 ③ 文部科学省健康教育調査官 岩崎 信子（指導助言）	宮城県立こども病院 アレルギー科 科長 三浦 克志	① エピペン®の正しい 取り扱い ② 質疑応答

平成27年度 公益財団法人日本学校保健会

食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会

日本学校保健会では、これまでファイザー株式会社共催による標記研修会を全国37会場（平成25・26年度）で開催してきました。本年度は、平成27年2月に文部科学省と公益財団法人日本学校保健会から「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン 要約版及びDVD」が発行されたことに伴い、この補助資料の活用実践報告を主たる内容とした研修会を開催します。

主 催 公益財団法人日本学校保健会 / ファイザー株式会社

後 援 公益社団法人日本医師会 / 一般社団法人日本学校歯科医会 / 公益社団法人日本薬剤会
開催地区府県政令市教育委員会（一部申請中） / 開催地区府県政令市学校保健会（一部申請中）

開催地・開催日

各会場とも収容人数の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。

開催地	開催日	会場	参加定員	募集締切
熊本	7月24日(金)	ホテルニューオータニ熊本 熊本県熊本市西区春日 1-13-1	700人	7月17日(金)
大阪	7月29日(水)	ホテルメルパルク大阪 大阪府大阪市淀川区宮原 4-2-1	1010人	7月17日(金)
仙台	8月11日(火)	仙台国際センター 宮城県仙台市青葉区青葉山無番地	1000人	8月4日(火)

参加対象 全国の幼・小・中・高・特別支援学校（含私立）の管理職・養護教諭・教諭・三師会 他

参加申込方法 学校保健ポータルサイト <http://www.gakkohoken.jp/>

- ① ネット申込み 研修会参加申込ページにアクセス ▶ ネットから申し込む
② FAX 申込み 研修会参加申込ページにアクセス ▶ 申込用紙をダウンロード ▶ 必要事項を記入 ▶ 日本学校保健会へFAX

研修会内容（予定）

13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00
開会	13:05～14:15 事例発表 要約版・DVD活用実践等（70分）	休憩 （15分）	14:30～15:40 講演「現状と課題（仮）」 小児アレルギー専門医（70分）	15:40～16:00 実技（20分）		
	熊本 田口 正美（高崎市立南小学校 校長） 関島 志織（松田市立小野中学校 養護教諭）		熊本 緒方 美佳 （国立病院機構 熊本医療センター 小児科）	① エビベンの正しい取り扱い ② 質疑応答		
	大阪 宮崎 繁夫（新潟市立白根第一中学校 校長） 三村 理加（姫路市立高浜小学校 養護教諭）		大阪 亀田 誠 （大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター 小児科 主任部長）			
	仙台 田口 正美（高崎市立南小学校 校長） 横原 真由美（千葉市立花島小学校 養護教諭） 指導助言／岩崎 信子（文部科学省 健康教育調査官） ※3会場共通		仙台 三浦 克志 （宮城県立こども病院 アレルギー科 科長）			